

準備しておくもの

避難所の救援物資の中にペットフード等はありません。災害時の慣れない環境でもペットが安心して過ごせるよう、普段から使っているものを非常用持出品として備蓄しておきましょう。

- 療法食、薬
- ペットフード、水(少なくとも5日分[できれば7日以上])
- キャリーバッグやケージ(避難時に欠かせないアイテム)
- 予備の首輪、リード(伸びないもの)
- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品(猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部)
- 食器
- タオル、ブラシ
- ウェットタオルや清浄綿(目や耳の掃除など多用途に利用可能)
- お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品
- ガムテープやマジック
- ペットの写真

★飼い主の連絡先とペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先

飼い主の連絡先 TEL:

飼い主以外の緊急連絡先 TEL:

ワクチン接種状況、健康状態など

ペットの災害対策

常滑市生活環境課

避難所での注意点

避難所に着いたら、受付で届出をし、避難所担当者の指示に従うようにしてください。他の避難者に迷惑がかからないように配慮をしましょう。特に、避難所では動物が苦手な方やアレルギーを持っている方等への特別な配慮が求められます。災害時には不安やストレスからちょっとしたことで避難者同士のトラブルにつながります。避難者がお互いに気持ちよく過ごせるように普段からペットのしつけや健康管理をし、ペットを様々な環境に慣らしておきましょう。

★ペット同行可能な避難所

青海公民館

市民交流センター

市民体育館

南陵公民館



★周りの人への配慮

避難所での飼育場所は、人と離れた場所とし、原則として自転車置き場や軒下などの屋外、車中を想定します。

受入れ可能な動物は犬、猫などの動物です。人に危害を加えるような動物の場合は受入れをお断りする場合がありますのでご了承ください。

★車中泊にはご注意を

車中泊する場合、飼い主さんはエコノミークラス症候群になる危険性があります。また、ペットは、暑い車内で水分不足になる危険性があるので、十分な飲み水を用意してください。

健康管理としつけ

★犬の場合

- ①基本的なしつけ(「待て」「お座り」「伏せ」)ができるようにしておく
- ②ケージの中に入ることを嫌がらない
- ③不必要に吠えない
- ④決められた場所での排泄
- ⑤狂犬病予防接種と各種ワクチン接種
- ⑥犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除



★猫の場合

- ①ケージ、キャリーバッグに入ることを嫌がらない
- ②決められた場所での排泄
- ③各種ワクチン接種
- ④寄生虫の予防、駆除



★その他の小動物(鳥、ウサギなど)の場合

- ①ケージ、キャリーバッグに慣れさせておく

★ケージへの慣らし方

<p>1 おやつなどで、ケージの入口近くに誘導し、さらにケージの中から奥へ誘導する。</p>	<p>2 ケージの中でおやつなどを食べさせる。</p> <p>なるべくほめる</p>	<p>3 おやつなどで誘導しながらケージの外に出す。また中に誘導して食べさせる。</p>
<p>4 扉を開けたまま、おやつやフードを入れた食器を置いて、ケージの中で食べさせる。</p>	<p>5 1～4を繰り返し行い、慣れてきたら、食べている間に扉を閉める。</p> <p>静かに閉める</p>	<p>6 食が終わる前に扉を開け、閉じ込められたと思われないようにする。</p> <p>扉を開ける時間を少しずつ長くする</p>

出展：
「災害、あなたとペットは大丈夫？
人とペットの災害対策ガイドライン
＜一般飼い主編＞」
(環境省発行)